



## はじめる前に

---

- 「最初にお読みください」 (P.4-1)
- 「インストール時間の要件」 (P.4-1)
- 「システム要件」 (P.4-2)
- 「ハードウェアおよびソフトウェアの要件」 (P.4-10)
- 「インストール前のチェックリスト」 (P.4-10)
- 「クラスタ トポロジ」 (P.4-11)
- 「Cisco Unified Presence の無人インストール」 (P.4-11)

## 最初にお読みください

Cisco Unified Presence を既存のサーバにインストールする場合は、ハード ドライブがフォーマットされ、ドライブ上の既存データがすべて上書きされることに注意してください。

## DNS 要件

次の DNS 要件に注意してください。

- 混合モードの DNS 導入はサポートされません。シスコでは混合モードの導入をサポートしていません。Cisco Unified Communications Manager と Cisco Unified Presence の両方で DNS を使用するか、使用しないかのいずれかにする必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager と Cisco Unified Presence は、同じ DNS サーバを使用する必要があります。Cisco Unified Presence と Cisco Unified Communications Manager で別の DNS サーバを使用していると、システムの動作に異常が発生する場合があります。
- マルチノードに関する考慮事項：Cisco Unified Presence でマルチノード機能を使用している場合の DNS 設定オプションについては、『*Deployment Guide for Cisco Unified Presence*』のマルチノードの導入に関するセクションを参照してください。

## インストール時間の要件

Cisco Unified Presence インストール全体のプロセスには、サーバのタイプに応じて、サーバ 1 台あたり 45 分から 120 分を要します（インストール前後の作業を除く）。

## システム要件

- 「必要なパスワード」(P.4-2)
- 「必要なインストール情報」(P.4-3)

### 必要なパスワード

インストール中に指定しなければならないユーザ名およびパスワードは、次のとおりです。

- 「管理者アカウント ユーザ名およびパスワード」
- 「アプリケーション ユーザ名およびパスワード」
- 「セキュリティ パスワード」

### 管理者アカウント ユーザ名およびパスワード

次のインターフェイスにログインするには、管理者アカウントのユーザ名とパスワードを作成する必要があります。

- Cisco Unified Operating System の管理インターフェイス
- Disaster Recovery System の管理インターフェイス
- コマンドライン インターフェイス (CLI)

管理者ログインは、先頭がアルファベットで 6 文字以上必要です。英数字、ハイフン、およびアンダースコアを使用できます。

管理者のパスワードを紛失してシステムにアクセスできない場合は、Cisco Unified Communications Operating System の管理ページで、管理者パスワードを復旧できます。

管理者パスワードのリセットが必要な場合は、CLI を使用します。必要な CLI の構文については、「必要なインストール情報」(P.4-3) を参照してください。

### アプリケーション ユーザ名およびパスワード

Cisco Unified Presence の管理インターフェイスにログインするには、アプリケーション ユーザ ID とパスワードを作成する必要があります。

アプリケーション ユーザ パスワードのリセットが必要な場合は、CLI を使用します。必要な CLI の構文については、「必要なインストール情報」(P.4-3) を参照してください。

### セキュリティ パスワード

インストール中にシステム セキュリティ パスワードを指定する必要があります。このパスワードは、クラスタ ノード間のセキュアな通信に使用されます。Cisco Unified Presence の管理に初めてログインしたときに表示されるインストール後の導入ウィザードで、セキュリティ パスワードを Cisco Unified Communications Manager パブリッシュ サーバで使用されるパスワードと同一になるようにリセットする必要があります。



(注)

インストール後の導入ウィザードで Cisco Unified Presence に設定するセキュリティ パスワードは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ サーバで使用されるパスワードと同一にする必要があります。システムでは、このパスワードを使用して、ノード間の通信が許可されます。このパスワードは、クラスタ内のすべてのノードで同じにする必要があります。

Cisco Unified Communications Manager のセキュリティ パスワードを紛失した場合は、Cisco Unified Presence から Cisco Unified Communications Manager サーバでのセキュリティ パスワードを確認できません。セキュリティ パスワードの取得方法については、Cisco Unified Communications Manager のマニュアルを参照してください。

Cisco Unified Presence の管理ページに初めてログインした後に Cisco Unified Communications Manager セキュリティ パスワードをリセットする場合（たとえば、パスワードを Cisco Unified Communications Manager で変更して、これを Cisco Unified Presence でアップデートする必要がある場合）、Cisco Unified Presence の管理ページで [システム (System)] > [CUCM パブリッシャ (CUCM Publisher)] を選択します。

## 必要なインストール情報

Cisco Unified Presence をサーバにインストールするには、インストール プロセスで特定の情報を指定する必要があります。この情報はインストール中に手動で入力するか、応答ファイルを使用して提供してください。クラスタにインストールする Cisco Unified Presence サーバごとに、この情報を収集してからインストール プロセスを開始します。

表 4-1 に、Cisco Unified Presence をインストールする前に収集する必要がある情報の一覧を示します。



(注)

フィールドの一部は省略可能であるため、設定に適用されない場合があります。たとえば、インストール時に SMTP ホストを設定しない場合もパラメータは表示されますが、値を入力する必要はありません。

表の一番右の列に、インストール後にフィールドを変更できるかどうかを示しています。また、変更可能な場合は、該当するメニューパスまたは Command Line Interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) を記載しています。

表 4-1 必要なインストール情報

設定データ	説明	インストール後に編集可能
<b>管理者の資格情報</b>		
管理者のログイン	管理者アカウントに割り当てる名前を指定します。	No
管理者のパスワード	管理者アカウントのパスワードを指定します。	Yes CLI : set password admin
<b>アプリケーション ユーザの資格情報</b>		
アプリケーション ユーザのユーザ名	Cisco Unified Presence の管理のユーザ ID を指定します。	Yes CLI : utils reset ui administrator name

表 4-1 必要なインストール情報 (続き)

設定データ	説明	インストール後に編集可能
アプリケーション ユーザのパスワード	Cisco Unified Presence の管理のパスワードを指定します。	Yes CLI : <b>utils reset ui administrator password</b>
<b>セキュリティ パスワード</b>		
Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ ノードのセキュリティ パスワード	各 Cisco Unified Presence サーバに設定するセキュリティ パスワードは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ サーバで使用されるパスワードと同一にする必要があります。	Yes 初期インストール中に入力したセキュリティ パスワードは、次の 2 つの方法のいずれかで変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified Presence の管理ページにあるインストール後 ウィザードでの設定時</li> <li>• Cisco Unified Presence の管理ページで、[ システム (System) ] &gt; [ CUCM パブリッシャ (CUCM Publisher) ] の順に選択</li> </ul>
<b>証明書情報</b>		
マニュアルの構成	証明書署名要求の作成に使用します。	Yes CLI : <b>set web-security</b>
部署	証明書署名要求の作成に使用します。	Yes CLI : <b>set web-security</b>
場所	証明書署名要求の作成に使用します。	Yes CLI : <b>set web-security</b>
都道府県	証明書署名要求の作成に使用します。	Yes CLI : <b>set web-security</b>
国	証明書署名要求の作成に使用します。	Yes CLI : <b>set web-security [orgunit] [orgname] [locality] [state]</b>
<b>(オプション) SMTP</b>		
SMTP ロケーション	電子メールの発信に使用する SMTP ホストの名前を指定します。  電子通知を使用する場合、このフィールドは必須です。使用しない場合は空白のままにします。	Yes <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified Communications Operating System の管理ページで、[ 設定 (Settings) ] &gt; [ SMTP ] の順に選択し、[ SMTP ホスト (SMTP Host) ] フィールドに IP アドレスまたはホスト名を入力</li> <li>• CLI : <b>set smtp</b></li> </ul>

表 4-1 必要なインストール情報 (続き)

設定データ	説明	インストール後に編集可能
<b>NIC インターフェイス設定</b>		
NIC 速度	Ethernet Network Interface Card (NIC;イーサネットネットワーク インターフェイス カード) 速度の自動ネゴシエーションを有効にしている場合、NIC 速度 (10 メガビットまたは 100 メガビット) を選択する必要があります。	Yes CLI : <code>set network nic</code>
NIC 二重化	Ethernet Network Interface Card (NIC;イーサネットネットワーク インターフェイス カード) デュプレックス設定の自動ネゴシエーションを有効にしている場合、NIC デュプレックス設定 (全二重または半二重) を選択する必要があります。	Yes CLI : <code>set network nic</code>
MTU サイズ (注) この値は、Cisco Unified Communications Manager サーバで入力した値と同一にする必要があります。値が異なると、インストールに失敗します。	MTU (Maximum Transmission Unit) は、このホストがネットワークで転送する最大パケットをバイト単位で表します。 MTU 設定は、クラスタ内のすべてのノードで同一にする必要があります。	Yes CLI : <code>set network mtu</code> (注) Cisco Unified Presence のこの値を変更する場合は、Cisco Unified Communications Manager の値と同一にする必要があります。
<b>ネットワーク情報</b>		
DHCP (ダイナミック ホスト コンフィギュレーションプロトコル)	DHCP を使用してサーバのネットワーク設定を自動的に行うには、[はい (Yes)] を選択します。  [いいえ (No)] を選択した場合、ホスト名、IP アドレス、IP マスク、ゲートウェイ、および DNS 設定の入力が必要です。	可能 <ul style="list-style-type: none"><li>• [Cisco Unified OS の管理(Cisco Unified OS Administration)] で、[設定 (Settings)] &gt; [IP] &gt; [パブリッシャー (Publisher)] の順に選択</li><li>• CLI : <code>set network dhcp</code></li></ul>

表 4-1 必要なインストール情報 (続き)

設定データ	説明	インストール後に編集可能
ホスト名 (注) Cisco Unified Presence サーバのホスト名を変更する方法については、『 <i>Changing the IP Address and Hostname for Cisco Unified Presence</i> 』を参照してください。	DHCP が No に設定されている場合は、このマシンのホスト名を入力する必要があります。	Yes <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified Communications Operating System の管理ページで、[設定 (Settings)] &gt; [IP] &gt; [イーサネット (Ethernet)] の順に選択</li> <li>• CLI : <b>set network IP</b></li> </ul>
IP アドレス (注) Cisco Unified Presence サーバの IP アドレスを変更する方法について、『 <i>Changing the IP Address and Hostname for Cisco Unified Presence</i> 』を参照してください。	DHCP が No に設定されている場合は、このマシンの IP アドレスを入力する必要があります。	Yes <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified Communications Operating System の管理ページで、[設定 (Settings)] &gt; [IP] &gt; [イーサネット (Ethernet)] の順に選択</li> <li>• CLI : <b>set network IP eth0 [ip-address] [ip-mask]</b></li> </ul>
IP マスク	DHCP が No に設定されている場合は、このマシンの IP サブネットマスクを入力する必要があります。サブネットマスクと IP アドレスで、ネットワークアドレスおよびホストアドレスを指定します。	Yes <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified Communications Operating System の管理ページで、[設定 (Settings)] &gt; [IP] &gt; [イーサネット (Ethernet)] を選択</li> <li>• CLI : <b>set network IP eth0 [ip-address] [ip-mask]</b></li> </ul>
ゲートウェイアドレス	DHCP が No に設定されている場合は、ゲートウェイアドレスを入力する必要があります。	可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified Communications Operating System の管理ページで、[設定 (Settings)] &gt; [IP] &gt; [イーサネット (Ethernet)] を選択</li> <li>• CLI : <b>set network gateway</b></li> </ul>
<b>(オプション) DNS</b>		
プライマリ DNS	Domain Name Server (DNS; ドメインネームサーバ) を備えている場合、Cisco Unified Presence はホスト名の解決を試みる際に、この DNS サーバに最初に接続します。	Yes CLI : <b>set network dns primary</b>
セカンダリ DNS	プライマリ DNS サーバに障害が発生した場合、Cisco Unified Presence はセカンダリ DNS サーバに接続を試みます。	Yes CLI : <b>set network dns secondary</b>

表 4-1 必要なインストール情報 (続き)

設定データ	説明	インストール後に編集可能
ドメイン	このマシンが設置されているドメインの名前を表します。	Yes CLI : <code>set network domain</code>
<b>時間帯</b>		
時間帯	現地時間帯と Greenwich Mean Time (GMT; グリニッジ標準時) からのオフセットを示します。マシンが設置されている場所に最も近い時間帯を選択します。	Yes CLI : <code>set timezone</code>
<b>ネットワーク タイム プロトコル</b>		
NTP サーバの IP アドレス	Cisco Unified Presence パブリッシャ ノードのインストール時に、外部 Network Time Protocol (NTP; ネットワーク タイム プロトコル) サーバの IP アドレスを指定する必要があります。Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ ノードを NTP サーバとして使用することを推奨します。	Yes Cisco Unified Communications Operating System の管理ページで、[設定 (Settings)] > [NTP サーバ (NTP Servers)] の順に選択
<b>Cisco Unified Presence パブリッシャ ノード</b>		
Cisco Unified Presence パブリッシャ ノードのホスト名  (注) Cisco Unified Presence サーバのホスト名を変更する方法については、『 <i>Changing the IP Address and Hostname for Cisco Unified Presence</i> 』を参照してください。	サブスクリバ ノードをクラスタに追加する際に、Cisco Unified Presence パブリッシャ ノードのホスト名が必要です。	Yes Cisco Unified Communications Operating System の管理ページで、[設定 (Settings)] > [IP] > [パブリッシャ (Publisher)] の順に選択  (注) ネットワーク設定の目的で、Cisco Unified Presence パブリッシャ サーバのホスト名を変更した場合だけに適用されます。これを実行する場合は、Cisco Unified Presence 内の後続のサーバで、パブリッシャ サーバの IP アドレスを更新する必要があります。

表 4-1 必要なインストール情報 (続き)

設定データ	説明	インストール後に編集可能
Cisco Unified Presence パブリッシャ ノードの IP アドレス <b>(注)</b> Cisco Unified Presence サーバのホスト名を変更する方法については、『 <i>Changing the IP Address and Hostname for Cisco Unified Presence</i> 』を参照してください。	ネットワークに DNS がない場合は、サブスクリバノードをクラスタに追加する際に Cisco Unified Presence パブリッシャ ノードの IP アドレスを指定する必要があります。	Yes Cisco Unified Communications Operating System の管理ページで、[設定 (Settings)] > [IP] > [パブリッシャ (Publisher)] の順に選択 <b>(注)</b> ネットワーク設定の目的で、Cisco Unified Presence パブリッシャ サーバのホスト名を変更した場合だけに適用されます。これを実行する場合は、Cisco Unified Presence 内の後続のサーバで、パブリッシャ サーバの IP アドレスを更新する必要があります。
<b>Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ ノード</b>		
Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ ノードのホスト名	Cisco Unified Presence パブリッシャ ノードのインストール後の導入ウィザードを実行する際に、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ ノードのホスト名が必要です。	Yes Cisco Unified Presence の管理ページで、[システム (System)] > [CUCM パブリッシャ (CUCM Publisher)] の順に選択
Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ ノードの IP アドレス	Cisco Unified Presence パブリッシャ ノードのインストール後の導入ウィザードを実行する際に、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ ノードのホスト名が必要です。	Yes Cisco Unified Presence の管理ページで、[システム (System)] > [CUCM パブリッシャ (CUCM Publisher)] の順に選択



表 4-1 必要なインストール情報 (続き)

設定データ	説明	インストール後に編集可能
<b>Cisco Unified Communications Manager AXL 資格情報</b>		
AXL ユーザ	AXL とは、Cisco Unified Presence が Cisco Unified Communications Manager との通信に使用する API です。パブリッシャ ノードのインストール時に、Cisco Unified Communications Manager AXL ユーザ名をインストール後の導入ウィザードで指定する必要があります。	Yes Cisco Unified Presence の管理ページで、 [システム (System)] > [CUCM パブリッシャ (CUCM Publisher)] の順に選択
AXL パスワード	パブリッシャ ノードのインストール時に、Cisco Unified Communications Manager AXL パスワードをインストール後の導入ウィザードで指定する必要があります。	Yes Cisco Unified Presence の管理ページで、 [システム (System)] > [CUCM パブリッシャ (CUCM Publisher)] の順に選択

## ハードウェアおよびソフトウェアの要件

次のサーバでサポートされるハードウェアに関する情報を確認してください。

- Cisco Unified Presence サーバ  
Cisco Unified Presence のハードウェア サポートについては、『*Hardware and Software Compatibility Information for Cisco Unified Presence*』を参照してください。
- Cisco Unified Communications Manager サーバ  
Cisco Unified Communications Manager のハードウェア サポートについては、次の URL にある Cisco Unified Communications Manager 互換性マトリクスを参照してください。  
[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products\\_device\\_support\\_tables\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products_device_support_tables_list.html)

ネットワークに Cisco Unified Presence マルチノード機能を設定している場合は、『*Deployment Guide for Cisco Unified Presence*』でマルチノードハードウェアの推奨事項を確認してください。

ソフトウェアの互換性については、『*Hardware and Software Compatibility Information for Cisco Unified Presence*』を参照してください。

## ソフトウェアの制限事項

Cisco Unified Presence は、シスコシステムズが承認したソフトウェアだけをアップロードおよび処理できます。サードパーティの Linux または Windows ベースのソフトウェア アプリケーションを、Cisco Unified Presence にインストールしたり使用することはできません。Cisco Unified Communications Operating System の管理ページで、有効なソフトウェアのインストールおよびアップグレードを実行してください。

## インストール前のチェックリスト

Cisco Unified Presence ソフトウェアのインストールを開始する前に、次のインストール準備作業を完了しておく必要があります。

1. Cisco Unified Presence ソフトウェアのインストールおよび設定の実行に必要なすべての情報を収集します。  
「必要なインストール情報」(P.4-3) を参照してください。
2. サブスクリバ ノードをインストールする場合は、Cisco Unified Presence パブリッシャ ノードのクラスターポロジにサブスクリバ ノードを追加する必要があります。「クラスターポロジ」(P.4-11) を参照してください。
3. Cisco Unified Presence サーバが Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ サーバにネットワーク アクセスできることを確認します。  
Cisco Unified Communications Manager に、他のサーバから ping を実行します。
4. 対応する Cisco Unified Communications Manager サーバで Cisco AXL Web Service が起動していることを確認します。  
Cisco Unified Serviceability で [ ツール (Tools) ] > [ サービスの起動 (Service Activation) ] の順に選択します。
5. DNS を使用する場合は、DNS サーバで新しい Cisco Unified Presence サーバのホスト名を設定したことを確認します。また、DNS サーバが、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ サーバのホスト名、および他の Cisco Unified Presence サーバ (存在する場合) のホスト名を解決できることを確認します。



注意

Cisco Unified Presence と Cisco Unified Communications Manager で同じ DNS サーバを使用することを推奨します。異なる DNS サーバを使用すると、システムの動作に異常が発生する場合があります。シスコでは混合モードの導入をサポートしていないため、DNS を Cisco Unified Communications Manager と Cisco Unified Presence の両方で使用するか、両方で使用しない必要があります。Cisco Unified Presence でマルチノード機能を使用する場合は、DNS 設定オプションについて『*Deployment Guide for Cisco Unified Presence*』を参照してください。

## クラスタ トポロジ

システムは、インストールした最初の Cisco Unified Presence ノードをパブリッシャ ノードとして自動的に割り当てます。マルチノード Cisco Unified Presence 導入の場合、パブリッシャ ノードのインストール後に、Cisco Unified Presence クラスタに必要なサブクラスタとサブスライバ ノードを作成する必要があります。Cisco Unified Presence の管理ページで [システム (System)] > [クラスタ トポロジ (Cluster Topology)] を選択し、Cisco Unified Presence パブリッシャ ノードでシステム トポロジ設定を実行してください。マルチノードインストールの新規実行については、「[マルチノードの新規インストールの実行](#)」(P.5-16) を参照してください。

サブスライバ ノードをご使用のトポロジに (パブリッシャ ノード上に) 作成してから、これらのノードに Cisco Unified Presence ソフトウェアをインストールする必要があります。ただし、これらのサブスライバ ノードに Cisco Unified Presence ソフトウェアをインストールするまでは、サブスライバ ノードをサブクラスタに割り当てることはできません。インストールする前にサブスライバ ノードをサブクラスタに割り当てると、リモート クラスタのユーザがプレゼンス情報を受け取ることができなくなります。サブスライバ ノードをインストールするまで、プレゼンス停止が発生します。複数のノードをクラスタに導入する標準的なプロセスは次のとおりです。

1. パブリッシャ ノードをインストールします。
2. パブリッシャ ノードのクラスタ トポロジで、すべてのサブクラスタとサブスライバ ノードを作成します。
3. クラスタのサブスライバ ノードをそれぞれインストールします。
4. パブリッシャ ノードのクラスタ トポロジで、必要に応じてサブスライバ ノードをサブクラスタ配置に割り当てます。

クラスタ トポロジの設定の詳細については、『*Deployment Guide for Cisco Unified Presence*』を参照してください。

## Cisco Unified Presence の無人インストール

Cisco Unified Presence は、インストール プロセス中に定義済みの設定値を読み取る XML 応答ファイルを使用して、無人インストールを実行できます。

Cisco Unified Communications Answer File Generator は、Cisco Unified Presence の無人インストール用の応答ファイルを生成する Web アプリケーションです。インストール プロセス中に応答ファイルを生成し、これを USB キーにコピーして Cisco Unified Presence DVD と共に使用してください。

生成された XML 応答ファイルはかなり大きくなる (たとえば 1 GB) ことがあります。そのため、この XML ファイルを USB キーに保存する前に、大容量ストレージをサポートするよう USB キーの再フォーマットが必要になる場合があります。USB キーの再フォーマットの詳細については、「[FAT32 ファイル システムへの USB キーの再フォーマット](#)」(P.4-13) を参照してください。

**(注)**

応答ファイルは Cisco Unified Presence のフレッシュ インストールだけに使用可能で、アップグレードには使用できません。

Cisco Unified Presence の無人インストールおよび設定用に応答ファイルを生成するには、次の URL にある Cisco Unified Communications Answer File Generator にアクセスしてください。

[http://www.cisco.com/web/cuc\\_afg/index.html](http://www.cisco.com/web/cuc_afg/index.html)

この Web アプリケーションでは、次の機能がサポートされています。

- パブリッシャ サーバとすべての後続サーバにおける無人インストール用応答ファイルの同時生成と保存
- データ エントリの構文的な検証
- Internet Explorer バージョン 6.0 以降および Mozilla バージョン 1.5 以降のサポート
- オンライン ヘルプおよびマニュアルの表示

## 応答ファイルの生成

次の手順で、Cisco Unified Communications Answer File Generator を使用して応答ファイルを生成する方法について説明します。

### はじめる前に

必要なインストールおよび設定情報を収集します。「[必要なインストール情報](#)」(P.4-3) を参照してください。

### 手順

- 
- ステップ 1** 次の URL にある Cisco Unified Communications Answer File Generator にアクセスします。  
[http://www.cisco.com/web/cuc\\_afg/index.html](http://www.cisco.com/web/cuc_afg/index.html)
- ステップ 2** インストールするノードに必要な情報を入力します。クラスタ内に、パブリッシャ ノードと最大 5 つのサブスクリバ ノードのインストールおよび設定情報を指定できます。
- 
- (注)** DHCP クライアントがパブリッシャ サーバで使用されていて、後続サーバの応答ファイルも生成されている場合、パブリッシャ サーバの IP アドレスを指定する必要があります。
- 
- ステップ 3** [応答ファイルの生成 (Generate Answer Files)] を選択します。
- ステップ 4** 手順に従って、応答ファイルをダウンロードします。インストールと設定対象の各ノードについて、応答ファイルが個々に生成されます。
-

## FAT32 ファイル システムへの USB キーの再フォーマット

場合によっては、Windows XP のディスクの管理ユーティリティを使用して、応答ファイル用の USB キーを FAT32 ファイル システムに再フォーマットする必要があります。FAT ファイル システム フォーマットは大容量ストレージ（たとえば 1 GB）に対応できます。この手順を実行するには、管理者または管理者グループのメンバーになることが必要になる場合があります。

### 手順

- 
- ステップ 1** Windows XP コンピュータの USB スロットに USB キーを挿入します。
  - ステップ 2** [スタート (Start) ] > [コントロール パネル (Control Panel) ] > [管理ツール (Administrative Tools) ] の順に選択し [コンピュータの管理 (Computer Management) ] をダブルクリックします。
  - ステップ 3** ストレージ ツリーを展開し、[ディスクの管理 (Disk Management) ] を選択します。
  - ステップ 4** [リムーバブル ディスク (Removable Disk) ] アイコンを右クリックして [フォーマット (Format) ] を選択します。
  - ステップ 5** このパーティションをフォーマットするかどうかの確認を求められたら、[はい (Yes) ] をクリックします。
  - ステップ 6** [ファイル システム (File System) ] を選択し、リストボックスから [FAT32] を選択します。
  - ステップ 7** [OK] を選択します。ボリュームのフォーマットを確認するプロンプトが表示されたら、もう一度 [OK] をクリックします。
- 



(注) 応答ファイルを使用した Cisco Unified Presence のインストールおよび設定手順の詳細については、「[応答ファイルを使用した Cisco Unified Presence のインストールと設定](#)」(P.5-8) を参照してください。

---

